

開催要項 日本武道学会 空手道専門分科会企画 第24回ワークショップ
空手道医科学セミナー2025

主催：日本武道学会 空手道専門分科会

共催：（公財）全日本空手道連盟 医科学委員会

向春の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は、当会の活動にご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

下記のとおり 32 回ワークショップを開催することになりました。今回は以下の開催目的をもって全日本空手道連盟医科学委員会との共催となっております。多数のご参加をお待ちしております。

1. 開催目的

- ・空手に関する医学的、学際的研究、検討の状況等は不明であるものの、他の競技団体に比べ遅れを取っている感は否めない。
- ・空手関係者による空手を科学する機会あるいは発表する機会や場がない。
- ・空手を科学するという発想に基づいた研究会（セミナー）を発足・開催するにあたり、日本武道学会空手道専門分科会や（公財）全日本空手道連盟医科学委員会が発起団体となることは妥当である。
- ・大きな目標に空手医科学の情報共有を掲げ、まずは全国の救護内容の共有、記録用紙の統一、提出、整理、管理、脳震盪や外傷等受傷後の復帰プログラムの策定等々を議論する場が必要である。そのために、全国各地の空手医科学に関与している方々を一堂に会し情報交換を継続的にできる場が必要となる。

2. 対象

空手に関係する全ての人。

特に空手の医科学領域を担当している、あるいは興味のある方

3. 医科学セミナー

・日 時：令和7年2月22日（土）13：00より

会 場：日本空手道会館大会議室(東京都江東区辰巳 1-1-20)

・進行

(1) 開会の挨拶 企画委員会委員長 工藤裕仁（専門分科会）

(2) 挨拶・趣旨説明 鈴木浩司（専門分科会会長・医科学委員会委員長）

(3) 講演（一人25分程度）13：05から

① 玉田一敬先生（医科学委員会・専門分科会）：顔面外傷について 13:05-13:30

② 南 昌秀先生（医科学委員会）：空手道の大会救護から	13:35-14:00
③ 中山貴士先生（関東学連医師）：学連の大会における外傷様相	14:10-14:35
④ 鈴木浩司先生（専門分科会・医科学委員会）：大会救護の現状	14:40-15:05
⑤ 工藤裕仁先生（専門分科会、強化委員）：理学療法的対応	15:10-15:35
⑥ 安東映美先生（専門分科会、医科学委員会）：女性空手選手について	15:40-16:05
※ 東海堂 羽鳥茂夫様（法人会員）：女性空手選手に対する商品説明	15:05-16:15
(5) 総合討論会 座長：鈴木浩司	16:15-16:35
(6) 閉会の挨拶 三村由紀（専門分科会副会長）（終了後写真撮影）	16:40
	(17:00 完全終了)
(7) 懇親会 会館近隣の会場で懇親会開催予定（別会計）	17:30 より

4. 会費

- ・日本武道学会空手道専門分科会・空手道研究会 会 員 1,000 円
- ・日本武道学会空手道専門分科会・空手道研究会 非会員 2,000 円
(入会していただければ無料)
- ・学生 無料

5. 申込み

2025 年 02 月 15 日（土）までに下記のリンクからお申し込みください。

forms.gle/Atw3XxGwVQrY74Hp7

5. 問い合わせ先

事務局 谷木 龍男 (yagitatsuo@tokai.ac.jp)